

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000  
 例会日時 木曜日 12:30  
 クラブ会報 広報委員長 安藤 正道  
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>



2015-16年度 R.I会長  
 K.R.ラビンドラン

承認 1995.3.28  
 会長 岩田 宏  
 幹事 若原 正幸  
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
 名古屋クレストンホテル1007号  
 TEL 052-263-1324  
 FAX 052-263-0730  
 Email [seinan1@fancy.ocn.ne.jp](mailto:seinan1@fancy.ocn.ne.jp)

岩田 宏会長年度目標： 他クラブと友好の輪を広げ 名古屋丸の内ロータリークラブを知ってもらおう

## 第966回 例会 No. 11 平成27年9月27日(日) 晴

### 秋の家族旅行会＝佐久島＝

- ロータリーソング
- 出席報告 会員51名中15名出席
- 出席率 31.91% 出席計算人数47名
- 修正出席率 9月10日 95.83%
- ゲスト ヨット連盟の皆さん 26名  
 会員ご家族 10名
- ◆ ビジター 関RC 林 隆一さん以下 45名  
 (9/24 受付)

### 会長挨拶

岩田 宏

### 家族旅行会報告

親睦活動委員長 武山卓史

「富貴ヨットハーバーから佐久島へ」

故岡田守功さんが企画して下さったヨットの例会は良い天候に恵まれ、たくさんの方にご参加いただいて楽しく過ごすことができました。



第 965 回 例会 No. 10 平成27 年9月17日(木) 晴

友愛夜間例会

- ローターソング 「それこそロータリー」
- 出席報告 会員51名中26名出席
- 出席率 54.17% 出席計算人数48名
- 修正出席率 9月3日 95.92%
- ゲスト 寺尾 悟 様  
名古屋千種 RC 会長 樫尾富二様  
会員ご家族ご友人 6名
- ビジター 福岡イブニング RC 青山毅さん  
(9/17受付) 以下 46 名

会長挨拶

岩田 宏

ニコBOX

名古屋千種 RC 会長 樫尾富二さん

本日はお誘いいただきましてありがとうございます。寺尾悟さまの話を楽しみにしています。

●本日の友愛例会は卓話にスピードスケートの寺尾悟様にお越し頂きました。寺尾様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。本日はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩田会長、若原幹事、藤田、田島、山鳥、林、水野、山崎、西川、古川、矢野、成田、宮崎、立石、堀江、武山、後藤、松尾、小菅、十文字 (敬称略)

安藤さん 当社の社員ですが、元ショートトラック オリンピック代表選手の桜井を連れてきました。宜しくお願いします。

本日合計 49,000円

会員一口メモ

「行政書士の仕事」 大岩とよみ



卓話

「オリンピックと夢のつづき」

元オリンピック スピードスケート代表選手 寺尾 悟



ロータリーの歩み2

(ロータリージャパンウェブ【ロータリー関連資料】より転載)

「ロータリーの定款と綱領のはじまり」(前号からの続き)

1915 年、国際連合会は、加盟クラブに 300 の定款があり、したがって目標も 300 組あることを発見した。ロータリーが目指したのは 200 の異なる目標や原則に沿う 200 の異なる組織ではなく、1 つの統一された運動になることであった。

ミネアポリスのアレン D. アルバート 1915-16 年度国際ロータリー会長は、ロータリー・クラブ国際連合会の定款と細則を起草する委員会の委員長にアーチ・クランプを任命した。クランプは 1915 年サンフランシスコ大会で委員会の報告書を発表し、代表委員が全会一致でこれを採択した。それから 1 年のうちに、委員会 はもう 1 組の書類を作成した。各ロータリークラブのモデル定款・細則となるものである。クラブの名称、綱領、会員資格と分類、区域限界、特定の政見支持の禁止など、重要な項目は標準化した。1916 年シンシナティ大会の代表委員がモデル定款・細則を採択し、すべての新設クラブにこの採用を義務付けた。「既存のクラブは既得権が認められる(連合会に残ることが許可される)が、地元クラブの定款に今後変更を行う場合は、国際連合会理事会の書面による承諾を得なければならない。」とチェスリー・ペリーが The Weekly Letter (週報) に書いている。

国際ロータリー・クラブ連合会の新しい定款で最も根本的な変更は、ロータリーを地区と呼ばれる 10 の地理的単位に分けたことにあった。これによって、連合会の綱領を推進し、クラブを新設し、既存クラブの利益を増進し、それらを国際連合会理事会の一般的な監督の下で行うために、「地区ガバナー」という新しい肩書きが創出された。90 年後の今日も、地区ガバナーは国際ロータリー理事会と地域のロータリアンとの間のリンクとして機能している。永い年月のうちに、ロータリーの定款は何度か改定されたが、文化的あるいは地理的変化に応じて行われた部分的修正を除き、改定は軽微なものであった。

ロータリー要綱とロータリーの綱領

定款と細則は連合会とクラブが守る規則と手続を定めたが、「ロータリーとは何か? ロータリアンは何を信じているのか?」という基本的な問いかけに答えるものではなかった。こういった中心的価値観は、もともと「ロータリーの宣言」と呼ばれたスピーチ、後に「ロータリーの綱領」に簡潔にまとめられている。

シアトル・ロータリー・クラブがその信条を定義する要綱を作成したのは、ほぼ発足の当日と言ってよい。同クラブのジェームス・ピンカム、アーネスト・スキール、ロイ・デニーの 3 名はクラブの方針声明書に手を加え、ポートランドで開催された 1911 年の第 2 回年次大会で「ロータリー要綱」案として発表した。5 段階から成る声明文は、会員の職業分類制度、公明正大な商取引の公約、奉仕がすべての仕事の基礎であるという考え方を提示した。要綱は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉で締めくくられていた。

次号に続く